

TAKAMITSU SASAKI

## 木工家具

日々の暮らしが  
楽しくなる家具



木材加工の機械や工具が並ぶ作業場に、シユツ、シユツとかなで削る音が響く。木のすがすがしい香りが満ちていく。木工家具のデザインと制作を行うブランド「fuuukei(ふうけい)」を立ち上げて工房を構えたのは2012年。イタヤカエデやナラ、ヤマザクラなど北東北の木材を使って椅子やテーブルなどの家具を作る。「重視するのは形よりもコンセプト。オリジナリティーを出すためにコンセプトを練ってからデザインします」

「アンバランス」がコンセプトのミニテーブルは、角度によって斜めの一枚板で立っているように見える。倒れそうで倒れない、視覚の錯覚を利用したトリックアートのような作品だ。「背もたれを切ったチェア」がコンセプトのツールは、英語で「椅子」を意味する「チェア」と「ツール」という言葉に着目。「英語では、背もたれ有り(チェア)、無し(ツール)で呼び方が違う。そこで考えたのが、チェアの背もたれを切って作るツール」というコンセプト

## 佐々木 貴充 さん

fuuukei

由利本荘市新田字壱ノ台41

<http://fuuukei.blogspot.com>

★作品の販売先／暮らしの道具と紅茶 みつばち(由利本荘市)、まど粹(秋田市)、日用雑貨・家具 ミンカ(大仙市)



ト」。シンプルなデザインと使い心地の良さ、日々の暮らしが楽しくなる作品を追求する。

東京のデザイン専門学校で過ごした学生時代、海外の家具のデザインに引かれて木工の道へ。2003年に湯沢市の家具メーカー「秋田木工」に入社し、2012年に独立した。ブランド設立は長年の夢だった。今はオーダー家具のほか、木材の端材を使ってスプーン、フォーク、バターナイフなどのカトラリーを作る。「使う人の暮らしに楽しさと幸せを」。そう願いながら木と向かい合う。

